

— 総括表 —	
◆ 事業計画	
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性 杉田地区は海側の工業地、低地の市街地、丘の上に形成された住宅地に大きく区分されます。3つの鉄道駅を中心に昔ながらの商店街や商業施設が集まり賑わいのあるまちですが、丘の上の住宅地等では移動や買物等に課題を感じている人も多いため、令和2年10月より買物移動販売を開始しており、販売拠点も拡大中です（計6か所）。また、健民祭等の多世代交流行事、健康づくり活動などが盛んである一方、老人会や子供会の運営継続等に課題もあります。 第4期磯子区地域福祉保健計画をもとに、子どもから高齢者、外国にルーツを持つ方、障害のある方や病気などにかかわらず、誰もがお互いを気かけながら住み慣れた地域で安心して住み続けられる街づくりに取り組みます。また、災害時などいざという時に生きる、自助・共助の力を養う取組を行います。	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
— 具体的な取組内容 —	
<input type="checkbox"/>	■ 人生の最終段階の医療・ケアの話し合い（人生会議）の推進に向けて、地域住民向けの横浜市人生会議のドラマを媒体とした講座開催や「もしも手帳」等の普及啓発を行います。
<input type="checkbox"/>	■ 詐欺被害防止に向けて、磯子区共通で作成した啓発用瓦版等を媒体とし、地域全体で詐欺被害を減らしていく環境づくりを進めていきます。
■	<input type="checkbox"/> コロナ禍での子育てについてどのような支援が必要とされているのか等、子育て世代のニーズ把握のための聞き取りや、アンケートを実施します。また、結果をもとに、ケアプラザ自主事業の企画や、区内子育て支援関連の会議等での情報共有、課題提起を行い、区地福計画のテーマである「子ども子育て」支援の推進に取り組んでいきます。
■	<input type="checkbox"/> ヨコハマ地域活動情報サービス検索ナビの情報公開を見据えて最新の地域情報を収集するとともに、支援に必要な情報については関係機関と共有を図ります。
■	<input type="checkbox"/> 地域住民が主体となって第4期磯子区地域福祉保健計画が推進していけるよう、区役所及び区社会福祉協議会と協働しながら地域への働きかけ、支援を行っていきます。
◆ 事業報告・事業実績評価	
<input type="checkbox"/> 振り返り 【ACP(人生の最終段階の医療・ケアを考える)の普及啓発】 広く地域に出向き、横浜市人生会議短編ドラマの上映を行った。その際「もしも手帳」をお渡しし、「もしも手帳」の説明を行うことで、ACPの普及啓発(出張講座を年間11回、延べ158人)を行いました。 【詐欺被害防止に向けた取組】 地域に出向く際、区が作成した消費者被害瓦版をお渡しし、啓発に努めるとともに、磯子区防犯協会から提供される「地域安全ニュース」を連絡通路に掲示し、必要箇所にはFAXにて情報提供を行いました。 【子ども子育て支援の推進】 保護者からの要望を受け、0歳児対象の「新米パパ応援講座」を企画・開催した。また、地区子育て支援連絡会にて、区やいそピヨ等と協働し、各関係機関が利用者の様子や、抱えている課題などの情報共有をする場を設定しました。 【ヨコハマ地域活動情報サービス検索ナビの情報公開】 現在の活動状況の把握とAyamuの情報更新だけでなく、活動者の方と情報公開の同意書のやり取りができたことで顔の見える関係づくりもおこなえました。 【第4期磯子区地域福祉保健計画の推進】 地区別計画の推進では防災をテーマに推進委員会、ワークショップを開催し、地域の防災についての課題検討をおこなうとともに成果物として地区独自の防災リーフレットの作成に取り組みました。	
<input type="checkbox"/> 区からのコメント ・地域の身近な拠点として顔の見える関係を構築し、地域の情報を把握いただくとともに、聞き取りやアンケートなども実施することで、それぞれのニーズを汲み取った事業を行っていただけたと思います。また、活動の広がりにつながる仕掛けや情報共有の改善など、コロナ禍においても新たな取組を積極的に進めていただきました。引き続き、丁寧なニーズ把握を基礎とした地域支援が推進されることを期待しています。 ・各職種が効果的に連携し、専門性を発揮することで、地域課題の抽出や地域の強みを活かした活動、シームレスな支援など、安心して暮らせる地域づくりにご尽力いただけたと思います。今後も、多職種が効果的に連携し、地域のあるべき姿の実現に向けた協働を推進していただければと思います。	